

質問（参加者）	回答（主管課）
<p><b>【給食献立のビジュアル化】</b></p> <p>給食の内容を保護者が知ることにより、子どもとの会話が広がり、コミュニケーションにもつながる。また、子どもの食への関心も高められるのではないかと。</p> <p>給食のビジュアル化を検討していただきたい。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>給食のビジュアル化については、広報媒体も含めて検討いたします。</p>
<p><b>【心の教室】</b></p> <p>小中学校の設置が非常に少ない。心の相談件数及び心の教室設置数を教えていただきたい。また、心の教室の方向性を教えていただきたい。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>相談員ひとり当たりの相談生徒数は、年間延べ554名です。相談員は中学校6校に配置されています。これからも学校の必要性に応じた柔軟な配置を心がけていきます。</p>
<p><b>【スキー授業の均一化】</b></p> <p>スキー授業の均一化をお願いしたい。実施している学校と、していない学校があるのは不公平である。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>チェアリフト設置以降、市内小中学校にスキー授業を働きかけていますが、実施するかどうかは学校判断となります。遠方の学校は移動時間の問題もあり実施が難しい状況にあることは事実です。</p>
<p><b>【特色ある地域授業】</b></p> <p>海に囲まれた佐渡の特性を生かした授業（魚のさばき方授業等）を平均して行ってほしい。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>佐渡の特性を生かした授業は、各学校が「総合的な学習の時間」で行っていますが、特性は地域によってさまざまですので、各学校で独自に指導内容を定め実施しています。漁業協同組合など地域に連携できる環境がある学校は、魚をさばく体験等を取り入れた学習を行っていますが、すべての学校で実施するよう指示することはできません。</p>
<p><b>【コミュニティスクール】</b></p> <p>コミュニティスクールの意義を地域や学校はどの程度理解しているのか。やり方、予算状況等を教えていただきたい。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>各学校への周知については、昨年度、文部科学省から指導者を依頼して研修会を実施するなど、年3回の研修会を実施しました。</p> <p>また、地域の方や保護者への説明用資料を作成・配布するとともに、年2回学校を訪問し、各校の課題や進捗状況を把握し、支援しています。</p> <p>予算状況については、事務局となるCSディレクターの活用（1時間800円×月15時間）や学校運営協議会（1回参加につき1,400円）への人的支援を実施しています。</p>

	<p>今後は、物的支援についても検討していきたいと考えています。</p>
<p><b>【スクールガードリーダー】</b></p> <p>痛ましい事件や事故を受けて、地域ぐるみで見守りをする環境づくりをしてほしい。スクールガードリーダーが一目でわかるように、また成果が上がるような運用をしてほしい。</p>	<p><b>【学校教育課】</b></p> <p>現在スクールガードリーダーとして、12名の方が登下校時の見守り活動に従事しています。活動範囲は小学校区を単位（複数校兼任もあり）としています。活動時は「スクールガードリーダー」のロゴが入った黄緑色の帽子、ポロシャツ又はウインドブレーカーを着用し、パトロールしていることが目に留まるよう配慮しています。</p> <p>しかし、担当校区を1人で見回るため、毎日同地区・同時刻をパトロールするのは難しい現状となっており、また、配置できていない校区もあります。</p> <p>スクールガードリーダーを全校区に配置することを最重点とし、あいさつ運動等地域の活動で協働できる部分を通じて連携強化を図り、地域全体で見守り・安全を確保する体制・意識を醸成していきたいと考えます。</p> <p>通学路の安全点検については、毎年全小中学校で実施しています。</p>